

■ 施策評価シート 12-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	防災
基本方針	自助・共助による防災対策の充実	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	12-01-①	施策名	自主防災体制の確立と市民意識の高揚

<p>施策の概要</p> <p>自主防災組織の育成等を進め、防災訓練や地域協働での防災教育、また、住宅耐震化の支援等を進めます。また、災害時において支援を必要とされる要援護者の支援体制を事前に決定するなど、地域と一体となって防災対策を進めます。</p>
--

成果指標(単位)	自主防災組織数(団体)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		204	205	206	207
実績値	203	204	204	205	209

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>令和6年度の実績値は、目標値を2団体上回り目標を達成することができた。新たにマンション管理組合を自主防災組織事業補助金の対象としたことにより、自主防災組織設立の取組が進んだものと考えられる。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>自主防災組織への補助制度を拡充した結果、備品や消耗品の購入が進み、地域の備蓄の強化および防災意識の向上が図られた。民間事業者により、マンションの建設や宅地の開発が進められているので、町内会の設立と合わせ、自主防災組織の結成を積極的に促す必要がある。</p>
---

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>自主防災組織が設立されていない町内会やマンションに対して、防災組織の設立を促進する必要があることから、令和8年度は、自主防災組織の設立支援に向けた取組を進める。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自主防災組織育成事業	危機管理課	○	自主防災組織への補助制度を拡充した結果、地域の備蓄の強化および防災意識の向上が図られたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
自主防災組織出初式開催事業	危機管理課
震災避難経路整備促進事業	建築政策課
民間建築物耐震化助成事業	建築政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 12-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	防災
基本方針	災害に強いまちづくり	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	12-02-①	施策名	消防体制・基盤の充実

<p>施策の概要</p> <p>消防・防災体制に係る人的資源の充実を図るとともに、消防団装備品の整備を進める等、迅速・確実な消防活動の確保に努めます。</p>
---

成果指標(単位)	実消防団員数/定数(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		84.0	85.0	86.0	87.0
実績値	83.9	83.9	84.7	82.8	87.2

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>令和6年度の実績値は、目標値を0.2ポイント上回り目標を達成することができた。地域での各団員による勧誘、広報くさつ特集記事での消防団活動の紹介および団員募集やSNSでの情報発信等を行ったことで、新規団員が入団したものと考えられる。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>新規団員の獲得に向けた取り組みは一定の成果が見られた。消防団は、災害に強いまちづくりに欠かせない存在であることから、団員を確保できるよう一層の広報活動に取り組む必要がある。</p>
---

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>引き続き、消防団の資機材・消防ポンプ自動車の計画的な整備や消防水利の適切な維持管理、機能別消防団員の拡充に取り込みことで、より一層の団員確保に努める。</p>
---

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
湖南広域行政組合負担金事務(消防費)	危機管理課	○	消防・防災体制に係る人的・物的資源の適正な管理を行うことで、迅速な消防・防災活動につなげることができたため。
消防団活動事業	危機管理課	○	消防団の装備の計画的な整備を行ったため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
コミュニティ防災センター運営事業	危機管理課
消防車両等整備事業	危機管理課
消防水利維持管理事業	危機管理課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった  
 ○ 期待どおりの成果があった  
 △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 12-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	防災
基本方針	災害に強いまちづくり	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	12-02-②	施策名	地域防災体制・基盤の強化

<p>施策の概要</p> <p>災害時に即応できる防災体制と情報伝達体制等を強化させるほか、計画的な備蓄確保や地域ごとの防災拠点の整備等に努めます。</p>
--

成果指標(単位)	「災害に強いまちづくり」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		24.0	25.0	26.0	27.0
実績値	23.9	22.4	21.5	17.9	22.2

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民意識調査の結果、実績値は目標値を4.8%下回ったが、昨年度と比較すると4.3%上回った。令和6年能登半島地震の発生により相対的に低下したが、トイレトレーラーの整備や備蓄品の購入、防災行政無線の更新を行ったことにより、昨年度から上昇したものと考えられる。</p>
---

<p>施策の達成度評価</p> <p>トイレトレーラーの整備や備蓄品の購入、防災行政無線の更新、地区防災計画策定の支援等を行ったことで、防災体制・基盤の強化が進んだ。災害に強いまちづくりの実現に向け、備蓄の強化や避難所の機能を高める取組を進める必要がある。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>マンホールトイレの整備や備蓄品の購入を引き続き計画的に進めることにより、避難所の機能を高め、災害に強いまちづくりの取り組みを進める。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防災対策事業	危機管理課	○	防災資機材等の整備や地区防災計画の策定支援などを行い、地域の防災体制・基盤を強化することができたため。
水防訓練事業	河川課	○	水防訓練の実施により、水防活動の強化を図ることができた。
大雨警報警戒体制事業	河川課	○	気象情報をリアルタイムに取得し、迅速な水防体制づくりを図ることができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった  
○ 期待どおりの成果があった  
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 12-03-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	防災
基本方針	治水対策の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	12-03-①	施策名	河川・排水路の整備

**施策の概要**

雨水排水能力の向上と浸水の防除を図るため、河川・排水路の適切な整備や維持管理を行うとともに、一級河川の早期整備に向けた要望活動に取り組みます。

成果指標(単位)	要望件数に対する実施率(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		94.5	96.0	98.0	100.0
実績値	93.0	85.7	95.1	96.6	97.1

**成果指標実績に対するコメント**

複数年度かけて実施する要望案件があり、目標値に対して実績値が下回る結果となった。

**施策の達成度評価**

各町内会の要望に対する河川・排水路の整備を実施し、雨水排水能力の向上を図ることができた。また、一級河川の整備について要望活動を行った。

**評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方**

引き続き、各町内会からの要望に対して迅速に対応をし、河川・排水路の雨水排水能力の向上を図るとともに、関係機関とも連携し、計画的に河川・排水路整備を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
河川改修事業	河川課	○	予定通り排水路の整備を行うことができた。
河川維持補修事業	河川課	○	適時補修を行い、適切な維持管理をすることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
草刈等河川愛護推進事業	河川課
町内会河川清掃浚渫土運搬事業	河川課
調整池維持管理事業	河川課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった  
○ 期待どおりの成果があった  
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 12-03-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	防災
基本方針	治水対策の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	12-03-②	施策名	公共下水道雨水幹線の整備

<p>施策の概要</p> <p>大雨による家屋等の浸水被害の軽減・未然防止を図るため、雨水排水路を整備します。</p>
---

成果指標(単位)	雨水排水路整備完了面積(ha)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		624.42	626.42	628.42	630.42
実績値	622.15	630.88	633.94	634.90	636.41

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>計画的に雨水排水路を整備し、整備目標を達成することができた。</p>
---

<p>施策の達成度評価</p> <p>令和6年度は北川第6排水区や新草津川右岸第2排水区等の雨水幹線整備を行い、浸水被害の軽減・未然防止を図ることができた。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>引き続き、計画的に整備を進め、浸水被害の軽減・防止を図る。</p>
---

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
雨水管渠等維持管理事業	河川課	○	適時補修を行い、適切な維持管理を行うことができた。
雨水管渠整備事業	河川課	○	計画通りの雨水排水路の整備を行うことができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった  
 ○ 期待どおりの成果があった  
 △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 13-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	生活安心・防犯
基本方針	暮らしの安心の確保	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	13-01-①	施策名	市民相談業務の充実

<p>施策の概要</p> <p>相談員の資質向上や相談体制の充実に努め、相談を受けた市民の生活上の不安や問題の早期解決を図ります。</p>
---

成果指標(単位)	市民から暮らしの困りごとに関して相談のあった数(件)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		800	800	800	800
実績値	706	631	552	600	713

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民からの暮らしの中の様々な不安や困りごとについて713件の相談があり、相続、相隣関係や離婚に関する相談などについて解決に向けた支援を行うことができた。</p>
---

<p>施策の達成度評価</p> <p>相談の解決を促すために、法律や税務等の専門機関、庁内外の関係機関にも適切につなげることができ、市民からの様々な相談に対して丁寧な対応が図れた。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>今後も市民の身近な相談窓口としての機能を果たすために、相談員の資質向上を図りながら、相談内容に応じて関係機関等へ適切につなげるとともに、相談者への丁寧な対応に努める。</p>
---

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
市民相談室運営事業	生活安心課	○	市民からの相談に適切な助言を行うとともに、相談内容に応じて関係機関等へ適切につなぎ、多様な相談に丁寧に対応できたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 13-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	生活安心・防犯
基本方針	暮らしの安心の確保	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	13-01-②	施策名	消費者の自立支援・消費者教育の推進と消費者団体の育成

**施策の概要**

消費生活に関する相談や出前講座を行い、消費者がトラブルに巻き込まれないように啓発や教育に努めるとともに、消費者団体の育成や支援を行います。

成果指標(単位)	市民から消費生活に関して相談(苦情)のあった件数(件)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		1,110	1,110	1,110	1,110
実績値	1,081	1,052	1,063	1,017	1,069

**成果指標実績に対するコメント**

消費生活に関する契約トラブルなどの相談(苦情)が1,069件寄せられており、消費生活相談員が丁寧に聞き取り、助言、情報提供、あっせんを行い課題解決・消費者被害救済につなげることができた。

**施策の達成度評価**

身近な相談窓口として、消費者トラブル解決のための支援を行うことができた。また、草津市消費者リーダー会と連携して、広報紙やホームページ等の様々な媒体を活用した注意喚起、地域イベントでの啓発ブース設置、地域老人クラブや学校等での出前講座を実施し、消費者被害の未然防止と自立した消費者育成が図れた。

**評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方**

引き続き、解決に向けた助言等を積極的に行い、消費者被害救済に努めるとともに、草津市消費者リーダー会と連携し、出前講座や啓発イベントの実施、国民生活センター等が発表する消費者トラブル事例と対処法の情報発信など、あらゆる年代に向けた注意喚起を行い、消費者トラブル等の未然防止に努める。また、複雑多様化する相談に対応するため、国民生活センター等が実施する消費生活相談に関する専門研修を積極的に受講し、スキルアップに努める。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
消費者教育推進事業	生活安心課	○	情報発信や講座開催等積極的に教育・啓発活動に取り組んだ結果、消費トラブルの未然防止が図れたため。
消費生活相談啓発事業	生活安心課	○	消費生活相談員が丁寧に聞き取り、助言、情報提供、あっせんを行った結果、消費者被害救済につなげることができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 13-01-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	生活安心・防犯
基本方針	暮らしの安心の確保	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	13-01-③	施策名	生活衛生の向上

**施策の概要**

生活衛生の向上のため、畜犬登録・狂犬病予防注射の実施、公道上等の小動物死骸処理、火葬場や市営墓地の適正管理等とともに、新たな火葬施設の整備に向けた取組を進めます。

成果指標(単位)	狂犬病予防注射接種率(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	80.4	80.6	80.8	81.0
実績値	80.2	80.5	78.7	79.4	79.4

**成果指標実績に対するコメント**

犬の飼い主に対して狂犬病予防注射について案内し、各地域まちづくりセンター等を会場に集合注射を実施するとともに、未接種の飼い主に対して接種を促した結果、目標値には達しなかったが、全国(R5接種率:70.2%)および滋賀県(R5接種率:66.4%)の接種率に比べて、高い接種率を保つことができた。

**施策の達成度評価**

狂犬病予防注射の接種率向上のため、飼い主への通知や周知啓発を行うとともに、畜犬登録が適切に行われるよう、ペットショップや転入者等への案内を行った。そして、生活衛生の向上、市民生活の安心につなげるため、公道上の動物死骸の処理、火葬場の安定的な管理運営、市営墓地の適正な維持管理に努めた。また、新たな火葬施設の整備に向け、一部事務組合および栗東市と連携し、事業推進に取り組んだ。

**評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方**

狂犬病予防注射接種率の向上のための周知啓発や、公道上の動物死骸の処理、火葬場および市営墓地の適正管理を引き続き行い、生活衛生の向上を図っていく。また、新たな火葬施設の整備については、事業が円滑に推進されるよう、一部事務組合および栗東市と連携しながら、引き続き取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
畜犬対策事業	生活安心課	○	畜犬登録に関する周知啓発、狂犬病予防注射の接種促進に努めた結果、全国平均より、高い接種率を保つことができたため。
火葬場管理運営事業	生活安心課	○	指定管理者制度による火葬場運営を行うとともに、必要な保全修繕を実施した結果、円滑な火葬業務が実施できたため。
市営墓地管理事業	生活安心課	○	市営墓地の適正管理に向けて、清掃や草刈等を実施した結果、良好な環境が維持できたため。
小動物死骸処理事業	環境政策課	○	公道上の犬猫等の死骸回収・焼却処理を行った結果、生活環境・公衆衛生を保全することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
草津栗東行政事務組合負担金事務	生活安心課
公衆衛生確保対策事業	生活安心課
公衆浴場衛生確保対策費補助事業	生活安心課
路上喫煙対策事業	生活安心課
駅前公衆便所維持管理事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 13-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	生活安心・防犯
基本方針	犯罪のないまちづくり	基本方針に関連するSDGsの目標	16  17 
施策番号	13-02-①	施策名	自主防犯活動の展開

**施策の概要**

街頭啓発の実施や防犯ボランティア団体等への活動支援等を通じて市民の防犯意識の高揚につなげ、警察や県と連携を図りながら、犯罪抑止に努めます。

成果指標(単位)	人口1万人当たりの犯罪認知件数(件)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		48.0	43.0	38.0	33.0
実績値	53.1	47.8	60.5	78.0	63.4

**成果指標実績に対するコメント**

実績値は、目標値を30.4件上回ったが、昨年度と比較すると14.6件下回った。新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより、犯罪の発生件数が増加していたが、地域や警察の防犯活動や令和4年度と令和5年度に設置した子ども見守り防犯カメラにより、昨年度と比較すると減少したものと思われる。

**施策の達成度評価**

子ども見守り防犯カメラの設置により、人口1万人当たりの犯罪認知件数の増加傾向に歯止めがかかったものの、社会的な問題となっている特殊詐欺や闇バイト等の犯罪抑止のため、地域や警察と連携し、防犯活動を強化する必要がある。

**評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方**

特殊詐欺等の被害防止に取り組むため、警察と連携した出前講座の開催や街頭啓発に力を入れるとともに、地域の防犯活動を支援するため、栗東市と連携し草津栗東防犯自治会の取組を進める。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防犯対策事業	危機管理課	○	街頭啓発や防犯ボランティア団体等への支援、町内会等への防犯灯や防犯カメラ設置に対する支援に取り組み、犯罪抑止力を強化できたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。



■施策評価シート 14-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-①	施策名	自然環境の保全	

<p>施策の概要</p> <p>自然と私たちの生活・社会活動とが密接に関係していることを理解し、身近な自然に関心を持つ機会を設け、地域の自然環境を保全・創出する活動を市民・地域・事業者等と連携して進めます。</p>
---

成果指標(単位)	「いきもの自然学校」受講者数(名)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	0	40	50	60
実績値	0	0	60	64	45

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>総合的に環境が学べるモデル地域2学区(志津・笠縫東)において、専門家、地域、団体等との協働により、環境学習プログラムを実施した。志津学区の受講者は47人の内新規受講者24人、笠縫東学区は21人全員が新規受講者であった。目標値を達成することはできなかったものの、リピーターの参加者も徐々に増加し、地域の自然環境を保護や保全に関わる人材の育成につなげることができた。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>第3次草津市環境基本計画に基づき各種事業を推進した結果、重点事業1「いきもの自然学校」に関する取組については、モデル地域と協議を行い、専門家の意見を取り入れ、事業の推進に関わる人材育成や、モデル地域の利活用を図るための環境学習プログラムを実施するなど一定の効果がみられた。また、自然環境保全地区(2地区)において危険木を除去するなど、地域の自然環境の保全を図ることができた。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>重点事業1「いきもの自然学校」については、受講者が自然に関心を持ち、地域の自然環境の保全につながる事業を目指し、まちづくり協議会等の関係機関と連携を強めながら、事業内容の充実を図る。また、事業について市ホームページ等で発信し、周知を行う。自然環境保全地区については、各地区の管理者等に対し補助を行うことにより危険木除去などを実施し、自然環境等に親しむことができる場と機会の提供を推進する。</p>
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自然環境保全啓発推進事業	環境政策課	○	「いきもの自然学校」や自然環境保全地区危険木除去等事業を実施した結果、市民の自然に対する関心を深めるとともに、地域の自然環境を保全することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
環境審議会運営事務	環境政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 14-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-②	施策名	環境汚染、環境負荷対策の促進

<p>施策の概要</p> <p>事業所等への適切な指導・啓発をはじめ、河川の水質調査など環境調査の継続実施を行います。</p>
---

成果指標(単位)	河川の水質における環境管理基準(BOD)の達成状況(達成回数/調査回数)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	20/24	24/24	24/24	24/24
実績値	18/24	20/24	17/24	21/24	17/24

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市内2河川にて24回の水質調査を行った結果、狼川で7回の基準超過があり、目標値には達しなかった。基準超過の原因を究明するため、上流での追加調査や流域の事業所の排水調査を重点的に実施したが、発生源の特定には至らなかった。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>河川の水質調査については、調査の結果、狼川で12回の測定のうち7回が環境管理基準を超過したため、継続して河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努めた。事業所等指導については、水質汚濁、大気汚染、騒音、振動、悪臭等の環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や、従来からの苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を行った。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>河川の水質調査など環境調査を継続するとともに、狼川流域の河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努め、規制対象外の事業所に対しても調査や啓発等を実施していく。また、引き続き環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や従来からの苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を実施していく。</p>
---

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
事業所等指導事業	環境政策課	○	環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や従来からの苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を行った結果、環境汚染等の未然防止が図れたため。
環境調査事業	環境政策課	○	継続して河川調査などの環境調査を実施した結果、市内の環境の状況を適切に把握し、良好な環境の維持管理につなげることができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市街地排水浄化施設維持管理事業	河川課
流域下水道維持管理費負担金事務	河川課
浄化槽法等指導事業	上下水道施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-01-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-③	施策名	環境学習の拡充

**施策の概要**

市民・地域・事業者等と連携のもと、市内に点在する自然、文化、食、歴史など地域資源を活用した体験型の環境学習・環境保全活動を推進し、主体的に活動する環境まちづくりを進めるとともに、環境活動に取り組む団体等の活動支援や活動する人材の発掘・育成を行います。また、環境に関する情報発信や環境への関心が深まるイベント、啓発活動を行います。

成果指標(単位)	こども環境会議参加団体数(団体)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	68	70	72	74
実績値	0	46	52	52	61

**成果指標実績に対するコメント**

こども環境会議参加団体数は61団体と目標値に達することができなかったが、主体を問わず幅広く参加を呼びかけることにより、令和5年度と比較して9団体増加させることができた。さらに、こども環境会議での壁新聞や展示物をくさつエコスタイルプラザ、イオンモールで展示を行うとともに、YouTube「くさつチャンネル」等で発信することにより、環境学習活動の啓発を行うことができた。

**施策の達成度評価**

第3次草津市環境基本計画に基づき、環境について学び行動できる地域社会づくりとして、環境学習教材の貸出や環境学習への講師派遣を実施した。こども環境会議は、主体を問わず幅広く参加を呼びかけることにより、令和5年度と比較して参加団体を増加させることができ、市民の環境への関心をより深めることができた。

**評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方**

市民が環境に関心を持ち、様々な環境学習が行えるよう、市ホームページやイベント等で環境学習情報を発信するとともに、講師派遣や貸出教材のさらなる充実を図る。また、こども環境会議は、交流やつながりが深まるよう実行委員会において内容の充実を図るとともに、開催について広報等で周知を行い、事業所、団体、大学など多種多様な主体による参画が図れるよう参加の呼びかけを行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
環境学習推進事業	環境政策課	○	こども環境会議などの環境に関するイベントの開催や、環境学習のための教材貸出・講師派遣を実施した結果、市民の環境への関心を深め、環境学習を推進することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 14-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	脱炭素社会への転換		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-02-①	施策名	様々な主体の自主的な取組の支援とネットワークの拡充	

<p><b>施策の概要</b></p> <p>脱炭素社会への転換に向けた取組を支援するため、愛する地球のために約束する協定をはじめ、様々な主体が自主的に取り組むための制度・仕組みづくりを行うとともに、自主的な取組を促す情報提供やネットワークの拡充を図ります。</p>
---

成果指標(単位)	草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数(者)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	77	79	81	83
実績値	75	76	78	78	77

<p><b>成果指標実績に対するコメント</b></p> <p>草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数は、「愛する地球のために約束する協定」の協定会員2者を含む4者の入会があったが、5者の協定会員が実質的に活動していないことなどを理由に退会されたため、全体としては1者減となり、目標値には届かなかった。令和6年度は協議会設立15周年記念誌を制作するなど協議会活動のアピールも行ったが、入会実績には繋がらなかったと考える。</p>
--

<p><b>施策の達成度評価</b></p> <p>協議会活動を対外的にアピールするだけでなく、会員自身が、研修や情報交換で脱炭素経営や事業活動に繋がるメリットが得られるよう、活動内容を充実させる必要がある。また、特に協定会員に対しては、公的支援により脱炭素取組を後押しすることも肝要である。</p>
--

<p><b>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</b></p> <p>令和7年度より開始した改訂版草津市地球温暖化対策実行計画区域施策編(第5次草津市地球冷やしたいプロジェクト)では、協定会員等の施設を再エネ促進区域とすることで、市・県等の脱炭素補助金が受けられたり優遇されたりする仕組みとしたことから、これを契機に、協定会員を中心とした脱炭素取組の活性化を促し、協議会活動のアピールと会員ネットワークの充実を図る。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域協議会運営事業	温暖化対策室	○	協議会の目的である「実行計画区域施策編を推進する」ため、啓発や研修などの活動を行うことができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 14-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	脱炭素社会への転換		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-02-②	施策名	省エネルギー対策・再生可能エネルギー利用等の推進	

<p><b>施策の概要</b></p> <p>省エネルギー機器の導入・更新や再生可能エネルギーの利用促進を図るため、イベント・フォーラム・展示会等の開催や導入事例等も含めて様々な情報提供を行います。</p>
---

成果指標(単位)	カーボンニュートラルに向けたイベント等における啓発者数(人)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	630	690	750	810
実績値	568	520	2,299	4,079	1,915

<p><b>成果指標実績に対するコメント</b></p> <p>目標値を上回る実績値となった。新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント・フォーラム・展示会などの開催がオンライン開催もしくは縮小、中止される社会情勢が当面継続することを想定し目標設定を行ったが、令和4年度以降はウイズコロナにより各種イベントへ等への来場者数が増えたほか、草津市地球温暖化対策実行計画区域施策編に基づき開催する「地球冷やしたいセミナー」の回数を増やした成果などが表れたものとする。</p>
---

<p><b>施策の達成度評価</b></p> <p>市が主催する地球温暖化対策をテーマとする大型商業施設での啓発イベント「地球冷やしたい推進フェア」は、令和5年度より2日間開催から1日開催へ変更したが、令和6年度は市制施行70周年記念事業としてトークショーを開催したため令和5年度より参加人数が増加した。一方、令和6年度は計画改訂作業に伴い市主催のセミナーの一部や市以外が主催のイベントでの啓発回数を精査したため、全体的な啓発者数は令和4、5年度より減少した。新たな啓発の方向性の検討が必要である。</p>
---

<p><b>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</b></p> <p>令和7年度より開始した改訂版草津市地球温暖化対策実行計画区域施策編に基づき、「健幸エコハウス」など新たなテーマでもセミナーやイベント等を開催し、カーボンニュートラル実現に向けて市民・事業者への啓発を図る。また、計画開始にあわせて太陽光発電導入などに係る補助事業を開始することから、補助事業説明会や、補助要件となる「省エネ診断」「うちエコ診断」の際に、省エネ対策や再エネの利活用を促していく。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
エネルギー対策事業	温暖化対策室	○	省エネルギーや再生可能エネルギー等に関して、イベント等で情報提供を行ったため。
広報啓発活動事業	温暖化対策室	○	イベント等でのカーボンニュートラルに向けた啓発を行うことができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
地域脱炭素事業	温暖化対策室

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった  
○ 期待どおりの成果があった  
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 14-03-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-①	施策名	ごみの発生抑制・再使用・資源化の推進

<p>施策の概要</p> <p>資源循環型社会の構築のため、発生抑制、再使用によるごみ発生量の削減と資源化による最終処分量の削減の取組を進めます。</p>
---

成果指標(単位)	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(集団回収量を含む)(g/人・日)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	553.5	546.2	534.4	519.2
実績値	557.4	542.8	515.4	490.6	479.1

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>人口は148,413人と前年度比で762人増加しているものの、これまでの継続したごみの減量や分別に関する啓発等の取組により、令和6年度の家庭系ごみ排出量(集団回収量を含む)についても25,956tと前年度比で555tの削減となり、1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(集団回収量を含む)が目標値の519.2g/人・日に対して実績が479.1g/人・日と目標を達成することができた。</p>
---

<p>施策の達成度評価</p> <p>計画に基づき各種事業を推進した結果、家庭系ごみ排出量(集団回収量を含む)は、前年度の26,510tに対して25,956tと555tの削減となり、資源化率は前年度17.9%に対し17.8%となった。最終処分量は前年度3,892tから3,791tと101t削減することができた。今後も循環型社会の構築に向けて引き続きごみの減量・リサイクルに取り組む必要がある。</p>
---

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>更なるごみの減量・リサイクルによる「資源循環型社会の構築」に向けて、ごみの発生抑制と再使用を進める取組に重点を置きつつ、取組を進めてもなお、排出されるごみについては、できる限り資源物としてリサイクルするため、適正な分別に向けた取組を推進する。</p>
---

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ減量化推進事業	資源循環推進課	○	生ごみ処理容器の購入に係る補助や資源回収活動の奨励、事業系ごみの減量指導等により、ごみの減量を推進することができたため。
ごみ分別啓発事業	資源循環推進課	○	分別アプリの普及推進や分別ブックの発行等、ごみの分別を周知啓発することにより、ごみの資源化を推進することができたため。
ごみ問題を考える草津市民会議活動補助事業	資源循環推進課	○	ごみ問題を考える草津市民会議と連携して、エコライフフェアの開催や広報誌「ごみジャーナル」の刊行等により、3Rを啓発することができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 14-03-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-②	施策名	ごみの適正処理	

<p>施策の概要</p> <p>効率的な収集とクリーンセンターの適正な運転管理を行います。</p>
---

成果指標(単位)	排ガス中のダイオキシン類測定結果(ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> )				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		0.1	0.1	0.1	0.1
実績値	0.0012	0.00010	0.00013	0.00072	0.00016

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>一般廃棄物処理施設の維持管理の技術上の基準を満たすよう運転を行った結果、排ガス中のダイオキシン類の測定値は、法令で定められた基準値の1ng-TEQ/Nm<sup>3</sup>はもちろんのこと、目標値である0.1ng-TEQ/Nm<sup>3</sup>も満たすことができました。</p>
---

<p>施策の達成度評価</p> <p>各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、クリーンセンターについては、これまでどおり適正な運転管理に努めた。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、生活環境の保全に努めるとともに、排ガス中のダイオキシン類の濃度については法令で定められた施設の基準値(1ng-TEQ/Nm<sup>3</sup>)の10分の1である0.1ng-TEQ/Nm<sup>3</sup>を自主基準値として定め、この自主基準値を超過することのないよう、引き続きごみを適正に処理していく。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ収集運搬事業	資源循環推進課	○	各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、生活環境を保全することができたため。
クリーンセンター管理運営事業	資源循環推進課	○	計画的・定期的な施設の補修やごみ処理施設を適正に運転・維持管理することができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ごみ分別啓発事業	環境政策課
湖南広域行政組合運営負担金事務	資源循環推進課
広域廃棄物埋立処分場建設費負担金事業	資源循環推進課
指定ごみ袋購入配布事業	資源循環推進課
草津市処分場管理事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-03-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-③	施策名	環境美化の推進

<p>施策の概要</p> <p>ごみの不法投棄防止のための定期的なパトロールの実施をはじめ、市民・地域・事業者・行政等が協力・連携し環境美化に努めます。</p>
--

成果指標(単位)	不法投棄ごみ率:不法投棄ごみ量/ごみ発生量(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02
実績値	0.03	0.04	0.04	0.03	0.03

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>不法投棄ごみ率は変化していないものの、クリーンセンターに搬入された不法投棄ごみ量は減少しており、定期的なパトロールによる監視活動や町内会によるボランティア清掃活動など、市民・地域・事業者との連携による取組の結果、生活環境の保全を図ることができた。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>不法投棄の発生が懸念される場所について定期的なパトロールを行うとともに、町内会等への不法投棄禁止看板やボランティア清掃用のごみ袋の交付など、不法投棄の未然防止や投棄物の回収に努めたことで、生活環境の保全を図ることができた。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>パトロールによる監視や監視カメラの有効活用など、不法投棄対策に引き続き取り組む。また、悪質性が高いと判断した場合は、警察への通報も含め、地域と連携し解決を図る。</p>
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
不法投棄対策事業	資源循環推進課	○	定期的なパトロールによる監視やボランティア団体との協働による不法投棄物の回収等によって、生活環境の保全することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
生活環境等対策事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 15-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	交通
基本方針	公共交通ネットワークの構築	基本方針に関連するSDGsの目標	11  17 
施策番号	15-01-①	施策名	公共交通ネットワークの充実

<p><b>施策の概要</b></p> <p>路線バスやまめバス路線の再編、ICTの活用等により、移動を円滑につなぎ、また、バス交通空白地・不便地において、デマンド型交通などの新たな移動手段の確保により、地域の維持・活性化につなげます。 さらに、関係機関とも連携しながら、JR草津駅・南草津駅周辺をはじめとする慢性的な交通渋滞の緩和や解消を行うとともに、運転免許証自主返納高齢者支援制度の充実や地域でのワークショップの開催などにより、公共交通の利用促進を進め、公共交通ネットワークの充実を図ります。</p>
---

成果指標(単位)	まめバスの年間目標利用者数(人)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		117,262	125,671	134,080	142,489
実績値	108,853	120,193	138,251	149,767	160,249

<p><b>成果指標実績に対するコメント</b></p> <p>まめバスの年間利用者数は、令和5年度に比べ約11,000人ほど増加しており、目標値を達成することができた。平成25年10月の本格運行開始から、年々利用者数が増加していることから、日常生活の移動手段としてまめバスが浸透しつつあるものと考えられる。なお、令和4年11月から本格運行に移行した草津駅下笠線については、成果指標の目標値には含んでいないことから、実績値にも含めていない。</p>
--

<p><b>施策の達成度評価</b></p> <p>まめバスおよびくるとバスに交通系ICカード等によるキャッシュレス決済と検索・乗降システムを導入するとともに、新たにまめタクを導入した地域を中心に利用教室等を開催し、まめタクの利用促進を図った。また、キャッシュレス決済導入に伴い、交通系ICカード等での決済で通常運賃より割引が受けられる新たな運賃割引を開始するなど、更なる利便性の向上およびサービスの充実を図ることができた。</p>
--

<p><b>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</b></p> <p>令和6年度策定の「草津市地域公共交通計画」に基づき、引き続きまめバス・くるとバス、まめタクの運行を維持・確保することに加え、民間事業者が運行する無料送迎バスを活用した「草津市無料送迎バス活用実証事業」を実施し、既存の地域公共交通と連携・補完する新たな交通手段として活用するなど、地域の多様な輸送資源の総動員による利便性の高い持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を目指す。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
公共交通対策事業	交通政策課	○	まめバス・くるとバス、まめタクの運行を維持・確保することなどにより、交通不便地における地域住民の移動手段の確保に寄与することができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
草津駅前地下駐車場運営事業	交通政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 15-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	交通
基本方針	公共交通ネットワークの構築	基本方針に関連するSDGsの目標	11  17 
施策番号	15-01-②	施策名	鉄道駅周辺での自転車利用環境の整備

施策の概要

公共交通の補完手段として、自転車の有効的な活用展開を図り、鉄道駅周辺における需要に対応した自転車駐車スペースを確保するとともに、放置自転車対策の強化を進め、自転車利用環境の整備を図ります。

成果指標(単位)	放置自転車撤去台数(台)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		232	195	164	138
実績値	157	178	260	184	277

成果指標実績に対するコメント

放置自転車の撤去台数は、令和5年度実績と比べて増加し、目標値についても大幅に上回り達成することができなかった。一方で、新型コロナウイルス感染症感染拡大前の令和元年末までは400台を超える撤去台数であったことに比べると、撤去台数を一定数減らすことができたのは、これまでの継続した啓発等の取組によるものと考えられる。

施策の達成度評価

令和元年までは400台を超える撤去台数であったことを踏まえると、継続的な鉄道駅周辺の自転車等放置自転車禁止区域における看板やステッカー、転入者に対する周知チラシ配付などの啓発や巡回等が一定効果として表れてきている。今後も自転車利用者の利便性の向上および駅前良好な都市景観を保つために、鉄道駅周辺の自転車駐車スペースの整備を実施するとともに放置自転車対策強化の検討が必要である。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

草津駅周辺の自転車駐車場については、令和7年4月から供用を開始した草津駅西口自転車駐車場、西口第2および第3自転車駐車場と一体的な運用を引き続き行い、南草津駅周辺については、南草津駅自転車自動車駐車場と(公財)自転車駐車場整備センターによる南草津駅西口自転車駐車場および令和7年度中に供用開始予定の西口第2自転車駐車場の運用により、需要に応じた自転車駐車スペースの確保・維持を行うとともに、放置自転車対策を継続して進めることで、鉄道駅周辺の自転車利用環境の整備を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
放置自転車対策事業	交通政策課	○	鉄道駅周辺の放置自転車禁止区域において、引き続き看板やステッカー、周知チラシによる啓発の実施と巡回を行い放置自転車の撤去等を行うことで、駅前良好な都市景観を保つことができたため。
草津駅西口周辺自転車駐車場運営事業	交通政策課	○	草津駅西口自転車駐車場建替工事を完了するとともに、建替工事期間中は、代替施設である草津駅西口第5自転車駐車場により、自転車駐車スペースを確保することができたため。
草津駅東自転車駐車場運営事業	交通政策課	○	定期待ちが発生しないように、引き続き定期利用と一時利用の受入れ台数を調整し、状況に応じた管理運営を行い、自転車利用環境を整えることができたため。
南草津駅駐輪・駐車場運営事業	交通政策課	○	サイクルラックに停めることができない大型自転車を停めることができるよう、専用置場を増設するなど、利用者のニーズに合わせた管理運営を行い、自転車利用環境を整えることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 15-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	交通
基本方針	交通安全対策の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	11  17 
施策番号	15-02-①	施策名	交通安全意識の高揚

施策の概要

交通事故防止につなげるため、交通安全教育、各種啓発活動、街頭指導等に取り組み、あらゆる世代における交通安全意識の高揚を図ります。

成果指標(単位)	交通安全教室への参加人数(人)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		2,478	3,702	4,926	6,150
実績値	1,254	2,028	2,215	3,107	2,973

成果指標実績に対するコメント

交通安全教室への参加人数は、令和5年度実績に比べ減少し、目標値についても下回り達成できなかった。新型コロナウイルス感染症感染拡大前までの参加人数までには回復していないものの、教室開催回数は以前と同程度開催していることから、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も依然として交通安全教室の小規模化が定着しているものとする。

施策の達成度評価

交通事故防止につなげるため、引き続き幼児・児童および高齢者に向けた交通安全教育等を実施し、広く市民に交通安全を周知することができた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

令和8年頃までに改正道路交通法が順次施行され、自転車の交通違反に対する罰則の強化が行われる予定であり、今後より一層自転車の交通ルールやマナーの周知啓発が重要となってくることから、法改正にも対応した交通安全教育、各種啓発活動、街頭指導等に取り組み、引き続きあらゆる世代における交通安全意識の高揚を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
草津栗東地区交通対策協議会事業	交通政策課	○	交通安全推進団体・関係機関と連携し、交通安全街頭啓発や交通安全シニアアカレッジの開催、自転車交通安全マナーアップ重点校事業等を引き続き実施したことにより、広く交通安全意識の高揚を図ることができたため。
交通安全啓発事業	交通政策課	○	交通指導員を中心に関係機関と連携して、幼児・児童等を対象とした交通安全教室を引き続き開催したことにより、幼少期における交通安全意識の高揚を図ることができたため。
自転車安全安心利用推進事業	交通政策課	○	自転車安全安心利用指導員を中心に関係機関と連携して、交通安全啓発や出前講座を引き続き開催するとともに、令和5年4月から努力義務となった自転車乗車時のヘルメット着用についても周知啓発することで、自転車利用マナーに対する意識の高揚を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
交通安全事務	交通政策課
草津栗東交通安全協会補助金事務	交通政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 16-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-①	施策名	広域主要幹線道路等の整備促進

**施策の概要**

主要幹線道路での慢性的な交通渋滞の解消を図るため、県の「道路整備アクションプログラム」に位置付けられた路線の早期着手および完了、ならびに都市計画道路平野南笠線整備をアクションプログラムに位置付けるよう要望活動に取り組みます。

成果指標(単位)	草津市域内の県道路整備事業の整備延長(m)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		300	560	0	1,500
実績値	0	300	260	0	1,000

**成果指標実績に対するコメント**

令和6年度においては、主要地方道大津能登川長浜線((都)山手幹線)の整備延長(草津市域:1,500 m)を目標値としていた。  
 滋賀県が工事実施し、令和7年3月23日に岡本町南交差点～山寺ランプ(1,000 m)において部分的に先行開通されたことより、過年度からの県への要望や事業協力が実ったものとする。  
 なお、草津市域の残区間(500m)を含む、山寺ランプ～上砥山ランプについては、令和7年秋頃に整備完了し、国施工の栗東水口道路Ⅰとあわせて全線開通予定とされている。

**施策の達成度評価**

(都)山手幹線については、継続的な要望活動を行っており、令和7年秋の開通に向け、現在滋賀県で工事を実施されている。  
 また、(都)平野南笠線については、まちづくりの環状軸と位置づけている、南北幹線道路を結ぶ東西アクセス道路として重要な路線であり、継続的な要望の結果、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられ、具体的な整備に向けて検討されている。

**評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方**

(都)山手幹線の全線供用後の周辺交通対策について要望を行うとともに、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられている(都)平野南笠線についても、着実な整備促進を要望していく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
国・県道路整備対策事業	土木管理課	○	国・県の道路整備に関しては、「国・県要望」として、要望活動を実施するとともに、関係機関との意見交換を積極的に行っている。また、広域幹線道路整備については、各種道路関係の協議会等での要望活動を随時実施してきた結果、(都)山手幹線等の主要幹線道路整備が進捗しているため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった  
 ○ 期待どおりの成果があった  
 △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 16-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-②	施策名	幹線道路の整備

<p>施策の概要</p> <p>渋滞緩和や交通アクセスの確保を図るため、幹線道路の整備を行い、道路ネットワークの充実に努めます。</p>
--

成果指標(単位)	大江霊仙寺線(南笠工区)の実施延長(m)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	388	388	918	918
実績値	388	388	388	530	530

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>令和6年度の当初実施目標とした918m(南笠工区全体)のうち、令和4年度末に完了した388m(その1区間)を除く530m(その2区間)の実施設計を進めることでの事業進捗を図った。 【南笠工区全体918m = その1区間(令和4年度完了)388m + その2区間530m】</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>大江霊仙寺線南笠工区その2区間について、計画通り事業を進めることができた。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>南北の幹線道路としてJR南草津駅周辺の渋滞緩和や大津方面への交通アクセスの確保を図るべく、その2区間の事業推進に向けた取組を着実に進める。</p>
---

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
大江霊仙寺線整備事業	道路課	○	計画通り事業を進めることができたため。なお目標値と実績値との差は、その1区間の令和4年度完了に伴う数値控除によるもので、令和6年度は計画どおりの内容を実施し、目標は達成した。
平野南笠線整備事業	道路課	○	事業化区間と位置付けた平野南笠線(新浜工区)の事業化に向け、滋賀県と連携して一部設計を進めることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 16-01-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-③	施策名	生活道路の整備

**施策の概要**

地域の暮らしの利便性、安全性の向上のため、市内における地域間および地域内の市道等の整備に努めます。

成果指標(単位)	市道の新設・改良整備延長(m)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		218	290	250	250
実績値	1,008	218	247	262	464

**成果指標実績に対するコメント**

計画通り、市民に身近な生活道路や通学路の整備を行い、安全性や利便性を高めることができた。

**施策の達成度評価**

通学路であるが狭隘な区間の路肩拡幅整備や、離合が困難なバス路線の拡幅整備、交通混雑が慢性的な路線の拡幅整備を行い、安全性や利便性の向上を図ることができた。

**評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方**

引き続き、必要性や効果を勘案しながら、計画的に整備を進める。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
道路新設改良事業	道路課	○	計画通り事業を進めることができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 16-01-④

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-④	施策名	歩道・自転車道等の整備

**施策の概要**

歩行者や自転車利用者が安全かつ快適に移動できるよう、歩道や自転車道等の整備に努めます。

成果指標(単位)	歩道・自転車道等の整備延長(m)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	1,075	500	790	790
実績値	860	1,075	423	790	1,580

**成果指標実績に対するコメント**

計画通り、通学路の安全対策のためのカラー舗装や路肩拡幅を行うと共に、自転車通行空間の整備に一部着手し、安全性や利便性を高めることができた。

**施策の達成度評価**

地元、公安委員会、学校との通学路合同点検により、必要性などを勘案しながら、路肩カラー舗装等の安全対策を講じた。

**評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方**

引き続き、必要性を勘案しながら、路肩カラー舗装等の交通安全対策を進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
歩道整備事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。
交通安全施設整備事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 16-01-⑤

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-⑤	施策名	道路施設の長寿命化と維持管理

施策の概要

安全で安心して道路が利用できるよう、パトロールを行い、日常的に道路の維持管理を行うとともに、橋梁等の道路施設について、計画的・効率的に点検・修繕を行います。

成果指標(単位)	修繕計画に基づく橋梁修繕工事の実施数(橋)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		7	5	3	2
実績値	9	8	3	3	5

成果指標実績に対するコメント

橋梁点検の結果、修繕すべき道路橋梁が増えたものの、修繕対象の対策工事が計画通り完了し、良好な道路環境を維持することができた。

施策の達成度評価

道路パトロールや道路の維持補修を行い、良好な道路環境を維持するとともに、橋梁等の道路施設については計画的に点検および修繕工事を実施することができた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

今後も引き続き、道路パトロール等の日常的な維持管理を行うとともに、橋梁等の道路施設の点検を継続し、その結果を踏まえた修繕を計画的に実施することで、良好な道路環境を維持する。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
道路維持補修事業	道路課	○	計画通り事業を進めることができたため。
道路パトロール事業	道路課	○	計画通り事業を進めることができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
道路関係団体負担金事務	道路課
道路等管理事務	道路課
交通安全施設維持管理事業	道路課
草津駅前広場等維持管理事業	道路課
土木設計積算システム事務	道路課
南草津駅前広場等維持管理事業	道路課
官民境界確定事務	土木管理課
道路台帳整備事業	土木管理課
道路等管理事務	土木管理課
未登記路線測量登記事務	土木管理課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 16-01-⑥

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-⑥	施策名	バリアフリー化の促進

<p>施策の概要</p> <p>安全で快適に移動できる環境を推進するため、JR草津駅、南草津駅を中心とする重点整備地区内でのバリアフリー化を促進します。</p>
--

成果指標(単位)	重点整備地区内での歩道のバリアフリー化実施延長(m)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		500	90	310	100
実績値	350	500	90	287	360

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>歩道等のバリアフリー化工事において、計画期間で完了する予定の事業内容を実施し、安全で快適に移動できる環境を推進することができた。</p>
---

<p>施策の達成度評価</p> <p>草津駅周辺の重点整備区域内のバリアフリー化を行い、移動円滑化を図った。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>今後も引き続き、草津市バリアフリー基本構想に基づき、草津駅周辺の重点整備区域内のバリアフリー化を行い、移動円滑化を図る。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
歩行空間バリアフリー化事業	道路課	○	計画どおり進めることができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 17-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	上下水道
基本方針	水の安定供給	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	17-01-①	施策名	上水道施設の更新・災害対策と維持管理

施策の概要

安全で安定した水を供給するため、浄水場や配水管等、上水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理を行います。

成果指標(単位)	1日を超える継続した断水件数(件)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	0

成果指標実績に対するコメント

成果指標である「1日を超える継続した断水件数」は0件であった。  
引き続き、上水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理を行い、安全で安定した水を供給する必要がある。

施策の達成度評価

令和4年3月に策定した第2次草津市水道ビジョンおよび水道事業経営計画に基づき、上水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理に努めた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

第2次草津市水道ビジョン〔経営計画(経営戦略)〕に基づき、上水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理に努める。安全で安定した水を供給する。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
給配水管修繕事業	上下水道施設課	○	計画的に水道施設の点検・調査を行い必要に応じて修繕を実施し、適切な維持管理に努めた。
配水管更新事業	上下水道施設課	○	草津市水道ビジョンに基づき、配水管の更新による耐震化を効率的に行った。
浄水場施設管理事業	北山田浄水場	○	安全でおいしい水を安定して供給するために、計画的に水道施設の点検を行い、必要に応じて修繕を実施し、適切な維持管理に努めた。
浄水場施設整備事業	北山田浄水場	○	草津市水道ビジョンに基づき、浄水場の計画的な更新と災害対策を実施した。
浄水場施設管理事業	ロクハ浄水場	○	安全でおいしい水を安定して供給するために、計画的に水道施設の点検を行い、必要に応じて修繕を実施し、適切な維持管理に努めた。
浄水場施設整備事業	ロクハ浄水場	○	草津市水道ビジョンに基づき、浄水場の計画的な更新と災害対策を実施した。

■施策評価シート 17-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
給水管整備更新事業	上下水道施設課
給配水管維持管理事業	上下水道施設課
水道台帳管理事業	上下水道施設課
配水給水事務	上下水道施設課
配水管移設事業	上下水道施設課
路面復旧事業	上下水道施設課
給配水管維持管理事業	上下水道総務課
量水器取替事業	上下水道総務課
給配水管維持管理事業	給排水課
配水給水事務	給排水課
上水供給事務	北山田浄水場
浄水場維持管理事業	北山田浄水場
浄水場運転管理事業	北山田浄水場
水質検査事業	北山田浄水場
上水供給事務	ロクハ浄水場
受水事業	ロクハ浄水場
浄水場維持管理事業	ロクハ浄水場
浄水場運転管理事業	ロクハ浄水場
水質検査事業	ロクハ浄水場

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート 17-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	上下水道
基本方針	水の安定供給	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	17-01-②	施策名	上下水道事業の健全経営

<p>施策の概要</p> <p>持続可能な水道事業運営のため、経営の効率化を図るとともに、健全な事業経営を行います。</p>
--

成果指標(単位)	「水の安定供給」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	47.3	47.5	47.7	47.9
実績値	47.1	45.8	45.3	49.4	47.8

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民意識調査の結果、「水の安定供給」に満足している市民の割合は前年度に比べ1.6ポイント減少し、わずかに目標を達成することができなかったが、イベント等のPRIにより、不満に感じている市民の割合は減少している。</p>
---

<p>施策の達成度評価</p> <p>第2次草津市水道ビジョン【経営計画(経営戦略)】に基づき事業運営を行った結果、料金の10%還元を継続して実施し、安定した水道水の提供や当期純利益の確保など一定の効果を得る事ができた。 また、「みんなの健康フェア」において開催した「きき水大会」では、多くの方が参加され、イメージが良くなったとの意見を多数いただいた。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>昨今の物価高騰の状況を注視しながら効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組むとともに、引き続き、イベント出展等による水道水の安全性とおいしさのPRなど、啓発と利用促進に努める。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
水道企画経理事務	上下水道総務課	○	適切な経理や財務処理を行い、健全経営に努めた結果、期待どおりの成果を得ることができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
水道啓発事務	上下水道総務課
水道総務事務	上下水道総務課
水道料金徴収事務	上下水道総務課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 17-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	上下水道
基本方針	下水道の安定運営	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	17-02-①	施策名	下水道施設の更新・災害対策と維持管理

施策の概要

快適な生活環境を保全するため、下水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理を行います。

成果指標(単位)	「下水道の安定運営」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		36.8	37.0	37.2	37.4
実績値	36.6	37.8	38.8	40.4	40.0

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「下水道の安定運営」に満足している市民の割合は前年度に比べ0.4ポイント減少したが、目標値は大幅に達成することができた。

引き続き、下水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理を行い、快適な生活環境を保全していく。なお、未接続世帯にかかる悪臭等の苦情もあり、意識調査に影響した可能性があるため、今後も引き続き水洗化啓発に取り組みたい。

施策の達成度評価

下水道事業第9期経営計画に基づき、下水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理に努めた。

評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方

下水道事業第9期経営計画に基づき、下水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、下水道施設の適切な維持管理に努める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
污水管渠等維持管理事業	上下水道施設課	○	計画的に下水道施設の点検を行い、必要に応じて修繕を実施し、適切な維持管理に努めた。
污水管渠整備事業	上下水道施設課	○	下水道事業第9期経営計画に基づき、管更生工事や耐震対策工事を行った。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
流域下水道事業費負担金事務	上下水道施設課
行政区域外流出負担金事務	上下水道総務課
污水管渠等維持管理事業	給排水課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事

■ 施策評価シート 17-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	上下水道
基本方針	下水道の安定運営	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	17-02-②	施策名	下水道事業の健全経営

<p>施策の概要</p> <p>持続可能な下水道事業運営のため、経営の効率化を図るとともに、健全な事業経営を行います。</p>
---

成果指標(単位)	「下水道の安定運営」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	36.8	37.0	37.2	37.4
実績値	36.6	37.8	38.8	40.4	40.0

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民意識調査の結果、「下水道の安定運営」に満足している市民の割合は前年度に比べ0.4ポイント減少したが、目標値は大幅に達成することができた。下水道事業の健全経営に対する市民の評価が表れたものとする。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>草津市下水道事業第9期経営計画(経営戦略)に基づき事業運営を行った結果、当期純利益の確保など一定の効果を得ることができた。</p>
--

<p>評価に基づいた令和8年度の取組についての考え方</p> <p>昨今の物価高騰の状況を注視しながら効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組むとともに、引き続き、下水道事業への理解と関心を深めるため、広報活動を行う。</p>
---

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
下水道推進事務	上下水道総務課	○	適切な経理や財務処理を行い、健全経営に努めた結果、期待どおりの成果を得ることができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
下水道使用料賦課徴収事務	上下水道総務課
受益者負担金等賦課徴収事務	上下水道総務課
汚水管渠等維持管理事業	上下水道総務課
流域下水道維持管理費負担金事務	上下水道総務課
水洗便所改造資金貸付事業	上下水道施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。